

# 第3回豊栄春マラソン大会 運営安全計画書

実施日：2021年3月28日（日）

競技時間：午後1時30分～午後3時30分頃迄

競技場所：豊栄地域（桑根井・エバグリーン・平林地区）

※皆神山を含む（頂上まで）

～安全計画書について～

この安全計画書は「第3回皆神山春マラソン大会」を安全に円滑に運営するために制作した企画書です。主には交通安全係に関する事項を記載しておりますが、実行委員全員が確認し、当日の対応や事故やトラブル防止の為に計画を把握しておきましょう。

本計画書の制作は、豊栄春マラソン大会実行委員会が行いました。本計画書に関するお問い合わせは、Matsushiro JBT までお願いいたします。

電話：090-9354-2407（担当：イデ）

メール：matsushirojbt@gmail.com

主催：豊栄春マラソン大会実行委員会

共催：松代地区住民自治協議会、豊栄地域区長会

後援：長野市

協力：長野市立豊栄小学校

## 1、第3回豊栄春マラソン大会 概要

実施日：2021年3月28日（日）

競技時間：午後1時30分～午後3時30分頃迄

大人の部スタート⇒午後1時30分

子供の部スタート⇒午後1時33分

実施場所：豊栄地域（関屋・桑根井・エバグリーン・平林地区）

※皆神山を含みます

受付・開会式・閉会式会場：長野市立豊栄小学校グラウンド

スタート場所：グラウンド一周して保育園側から

受付開始時間：正午12時00分から

※大会の日程についての詳細はタイムスケジュールを参照ください。

◇コース

・大人の部 約 6.5 キロ

豊栄小学校⇒桑根井集落⇒皆神山ふもと⇒皆神山山頂⇒皆神山ふもと⇒平林神社付近住宅街⇒豊栄小学校

・子供の部 約 3.2 キロ

豊栄小学校⇒桑根井集落⇒皆神山ふもと⇒平林神社付近の住宅街⇒豊栄小学校

※詳細なコースは地図にてご確認ください。

応募方法：インターネット及びFAX・直接提出

その他：雨天の場合は、大雨でない限り決行します。

～マラソン大会全般に関するお問い合わせ～

電話：090-5584-4092（担当：マキノ）

FAX：026-278-8583

メール：matsushirojbt@gmail.com（Matsuishiro JBT）

主催：豊栄春マラソン大会実行委員会

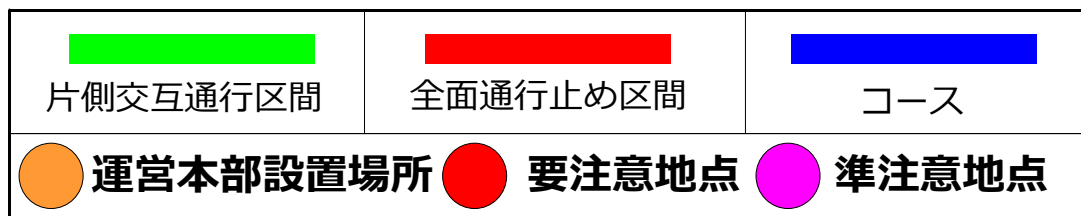
（Matsushiro JBT、豊栄地域活性化委員会）

共催：松代地区住民自治協議会、豊栄地域区長会

後援：長野市

協力：長野市立豊栄小学校

コースの詳細は以下をご覧ください。



- 3 -

■「豊栄」信号から牧内方面に向かう道路の一部

※詳しくは地図をご覧ください。

この個所については、交通量が多く広い道路であることを考慮し、交通規制を実施しなければ危険であると判断したため、**片側交互通行**を実施します。

規制時間は、**午後12時30分～午後3時30分**までの3時間です。



ここの係員は赤色の  
手旗を両手で持ち、  
上下に振って車両に  
徐行を促す。

反対側においても、「桑根井」バス停  
付近に係員 1 名が立ち、手旗などを  
用いて、車両に徐行を促す。

前ページまでの交通規制区間について、本格的な規制を実施する区間における係員の役割は次の通りとします。

(1) 片側交互通行の区間の端に配置する係員について

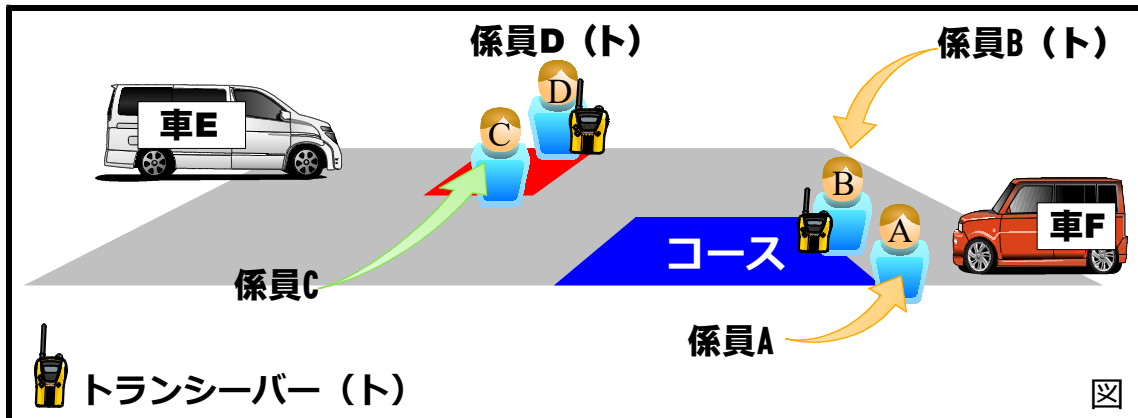
片側交互通行を実施する区間において、区間の端に配置する係員については、各2名以上とします。この2名は赤色と白色の手旗を持ち、トランシーバーを用いて区間の端同士で情報を共有しながら、旗を使って車両を誘導します。この際、**1名がトランシーバーで区間の端同士情報を共有し、もう1名が手旗を用いて車両に停車または発進を促します。**万が一、手旗による誘導を無視して発信する車両がいた場合、1名は直ちにトランシーバーでその旨を反対側の係員へ伝え、もう1名はホイッスル（笛）などを用いて停車を促します。

(2) 全面通行止め及び片側交互通行を実施する規制区間への脇道からの合流地点（交差点）における車両侵入防止対策について

規制区間への脇道からの合流地点には、交通量が多いと判断した地点については1名の係員を配置し、比較的交通量の少ないと判断した地点にはパイロンや看板を用いて車両の進入を防止します。合流地点に配置された係員は、誘導棒を持ち、規制時間中に車両がコース内に侵入するのを阻止します。**先導車両などの運営関係の車両以外は絶対に侵入させないように注意します。**

#### 4、片側交互通行における手旗信号の手順

片側交互通行区間の両端にはそれぞれ2名ずつ係員を配置します。1名はトランシーバーを所持し、もう1名は赤色と白色の手旗を持ち車両の誘導を行います。車両をどの程度流し、どのタイミングで止めるかはトランシーバーを所持している係員が判断します。



上記の図を用いて説明します。

図の状態の時、「車E」側を先に発進させ「車F」側を停車せる場合のトランシーバーの使用方法及び誘導方法の例を以下に示します。

係員 B：「車両止めました。そちら（車 E 側）流してください」  
とトランシーバーにて係員 D へ連絡する

係員 D：「了解しました」とトランシーバーで係員 B へ連絡する  
片側交互通行区間内に車両が走行していないかを確認し、  
安全を確認してから、係員 C に「流してください」と口  
頭で連絡する

係員 C：赤色の旗から白色の旗に持ち替え、白色の旗を降って車 E  
を発進させる

係員 D：車 E 側の車両を複数台流し、車が途切れたと判断したら、  
係員 C に「止めてください」と指示を出す。この際に、  
最後に流した車の特徴を覚えておく。（車が途切れない場  
合は、適当だと判断したタイミングで停車の指示を係員 C  
に出す）

係員 C：停車の指示を係員 D から受けたら、白色の旗を振るのを  
やめ赤色の旗を手前を出して（車両に旗が見えるように）

車両を停車させる。車両を止めた際は、停車した車に会  
釈などをする

**係員 D：**車 E 側の車両が完全に停車したのを確認したら、トラン  
シーバーにて「車両止めました。そちら（車 F 側）流し  
てください。最後尾は、〇〇色の軽です。（例）」と係員 B  
へ連絡する（最後に流した車両の特徴を伝える）

**係員 B：**「了解しました」と係員 D へトランシーバーで連絡する。  
車 E 側の最後に流した車両が通過し、規制区間内に車両  
が走行していないかを確認してから、係員 A に「流して  
ください」と口頭で連絡する。

**係員 A：**赤色の旗から白色の旗に持ち替え、白色の旗を降って車 F  
を発進させる。

**係員 B：**車 F 側の車両を複数台流し、車が途切れたと判断したら、  
係員 A に「止めてください」と指示を出す。**この際に、  
最後に流した車の特徴を覚えておく。**（車が途切れない場  
合は、適当だと判断したタイミングで停車の指示を係員 A  
に出す）

**係員 A：**停車の指示を係員 B から受けたら、白色の旗を振るのを  
やめ赤色の旗を手前に出して（車両に旗が見えるように）  
車両を停車させる。車両を止めた際は、停車した車に会  
釈などをする。

**係員 B：**車 F 側の車両が完全に停車したのを確認したら、トラン  
シーバーにて「車両止めました。そちら（車 E 側）流し  
てください。最後尾は、〇〇色の軽です。（例）」と係員 D  
へ連絡する（最後に流した車両の特徴を伝える）

**係員 D：**「了解しました」・・・・・・・・

基本、以上のことを繰り返します。規制中にトラブルなどが発生  
した場合はトランシーバーを用いて連絡を取りあい、臨機応変に  
対応します。**手旗で誘導を行う係員は、指示がわからなかったり  
トラブルが発生した場合は、とりあえず赤色の旗で車両に停車を  
促し停車させます。**



## ◇車両を誘導する際の旗の使い方

### ・車両を停止させるとき

- ①停止させる車両が見えてきたら、赤い旗を高く上げて小刻みに左右に振りドライバーに停止の合図をします。
- ②車両が近づいてきたら赤い旗を持った腕を横に伸ばし車両を停止させます。この時、旗の赤い布の部分がしっかりドライバーに見えるようにして、旗はできる限り動かないようにしましょう。（停止した車両には必ず会釈をしましょう）
- ③トランシーバーを所持する係員から発進の指示を受けるまでは②の状態のまま車両を停止させます。

### ・車両を発進させるとき

- ①トランシーバーを所持した係員から発進の指示を受けたら、まず周囲の安全を確認します。
- ②安全であると判断したら、ドライバーに会釈をし、赤い旗を白い旗に持ち替えます。
- ③白い旗を左右に振ってドライバーに発進を促します。トランシーバーを所持した係員から停止の指示を受けるまでは、この動作を続けます。

## ◇万が一の場合は

万が一、規制中に規制区間において交通事故が発生した場合は、直ちに本部に連絡してください。又、可能であればその場で警察・消防へ連絡をし、けが人がいる場合はけが人の救護を最優先に行ってください。

その他、様々なトラブルが予想されます。その場で対処できるトラブルであれば、その都度臨機応変に対応してください。対応に困った場合や重大なトラブルであると判断した場合は、迷わず本部へ連絡してください。

## ◇本部連絡先（大会当日）

大会当日、困ったことなどがありましたら下記へ連絡をお願いします。

電話：090-9354-2407（統括本部 イデ）